



# 労福協たより

2025年3月

第33号  
発行責任者  
飯室 憲一

## 自嘲ネタ満載？福祉とくらしのセミナー開催

2024年11月14日に富士地域労福協主催「福祉とくらしのセミナー」を開催しました。今回は藤井聡太棋士の師匠である、杉本昌隆氏を招いて富士ロゼシアターで講演をいただきました。藤井聡太氏については、常に疑問を持ち、俯瞰力があり、集中力の持続が素晴らしいと、現代の若者との違いについて評価し、初めて会った時にすごい才能の少年と感じたと話されていました。全体的な杉本氏の話の印象としては、師匠であるにも関わらず、自分から遜り、弟子である年下の人たちに柔軟に対応できることが素晴らしいと感じました。また、若い人たちにはいつの時代でも経験が大事であると話されていました。随所に自嘲的なネタを入れて、観客席の笑いを集めていました。富士地域労福協では、今後も皆さまの生活に役立つ情報発信ができるよう活動を行っていきます。

来年度の福祉とくらしのセミナーは県下でのWebセミナーとなります。お楽しみに・・・



## ヒルにご注意！竹林整備活動

2024年11月16日（土）に「竹林整備活動」を、NPO ホールアース自然学校の協力により実施し、労福協役員を中心に27名が参加しました。今回も整備活動をさせていただく場所は、ホールアース自然学校（富士宮市下柚野）近隣の芝川に沿った山裾です。

竹は地面浅くまでしか根を張らないことから、豪雨時などには表層の土砂ごと流れ落ちてしまう可能性があり、放置しておくとうちやもたせたり、河川に流れ込んでせき止めたりと大きな災害につながる恐れがあります。加えて放置竹林は猪や鹿、猿などの住処や餌場ともなり、里山に深刻な獣害をもたらすため、竹林を整備していくことは、社会的にも私たちの生活の安全を守る意味でも非常に重要な活動といえます。作業については、ヒルに噛まれてしまった方が2名おりましたが、全員無事に終えることができました。私たちの活動が、安心・安全な生活に繋がることを願いながら、森づくりと共に本活動も続けていきたいと考えています。



## 富士宮市へ行政要望書を提出しました

2024年12月17日（火）、富士宮市役所において富士宮市長との懇談会を開催し、市に対し行政要望書を提出しました。市からは須藤富士宮市長のほか担当部署の代表、労福協からは飯室会長、高橋副会長、足立副会長、塩川副会長、浦本事務局長、高橋事務局次長の6名が参加し、富士宮市の勤労者の声に耳を傾けていただきました。要望書作成にあたり、労福協の各会員から要望を集約し、内容の確認や調査を行い、多くの要望事項から三役会・幹事会を経て、①高齢化が進む山間地域の整備されていない山林の間伐と、山地災害が起きにくい森林育成について ②保健室サポート支援員の新設について ③無痛分娩費用の補助または無償化について ④市に勤務する非正規職員（会計年度任用職員）の福利厚生への拡充について、以上の4項目に取りまとめました。市長からは「来年度からは森林整備を行う林業事業者の人材育成、作業効率向上を目的とした補助金を新たに開始する予定。」などの回答をいただきました。富士宮地区労福協は勤労者からの声を行政に届けるため、今後も活動を続けていきます。（[要望と回答内容の詳細は労福協ホームページをご覧ください。](#)）



## 「新年の集い」を盛大に開催しました

2025年1月24日（金）に「富士宮地区労福協新年の集い」を開催しました。68名の参加者が会場の富嶽温泉ホテル「花の湯」へと参集いただきました。今回は5年ぶりに「鏡開き」を行い、新年を盛大にお祝いしました。

冒頭、飯室会長からは、「社会貢献として里山再生や竹林整備など多くの活動を行ってきたが、労働者の生活向上に資する活動も重要である。多くの会員企業では、物価の上昇を上回る賃上げは実施されておらず、労働者の生活環境は厳しい状況が続いている。今後はより一層、福祉事業団体の活用や連携により生活向上に資する活動を行っていきたい。」との挨拶がありました。また、来賓としてご臨席いただきました県労福協の中西理事長からは、「日頃からの協力に感謝申し上げる。助け合いの自助、公助、共助の他に“他助”も必要である。これからは我々の輪の外にいる人たちも積極的に支援し労働者福祉の輪を拡げていきたい。」旨のお話がありました。

本年は、高橋副会長の司会で進行し、飯室会長およびご来賓による鏡開き、足立副会長による乾杯、歓談後に例年同様「若者の会」によるイントロゲームを実施しました。

ゲームのあとは、メインイベントの大抽選会です。労福協幹事会員や福祉事業団体、退福共から提供された賞品を中心に、今年も豪華賞品を取り揃えました。塩川副会長と松尾幹事による円滑な進行により、提供された賞品の説明と抽選をし、参加者へ次々と賞品が手渡され、高額な商品券やお目当ての賞品をゲットされた方は大変喜んでいらっしゃいました。特別賞を含め参加者全員に景品が行き渡りました。

最後に、浦本事務局長より閉会の挨拶があり、今年最初の気持ち合わせができました。

新年のスタートにあたり、多くの会員の皆様と新年の顔合わせができ、ゲームや抽選会で楽しいひと時を過ごすことができました。



## 大人気「いちご狩りイベント」

2025年2月2日（日）、9日（日）、15日（土）、22日（土）の4日間、「いちご狩りイベント」を開催しました。少人数・近距離・現地集合解散のイベントとして人気の恒例行事ですが、定員に対し応募人数が多く、なかなか抽選に当たらないとの声も多いため、今回は2日間増やし4日間としました。また、今回より申込方法を変更し、静岡ユニオントラベルのホームページから申込書式をダウンロード、会員にて取りまとめていただき、静岡ユニオントラベルへ直接お申込みいただく方法としました。申込方法の変更がありながらも、応募人数は前回の694名より多い793名でした。参加された皆さんは、大振りのいちごをしっかりと選んでは黙々と口に運んでいました。

肌寒さの残る中ではありましたが、ハウス内にはミツバチが飛ぶ姿や甘いいちごの香りもあって、春を感じられる楽しいイベントになりました。



子育てを応援  
人がたくさ

ふじのみや  
ベビーステーション

あなたも  
ベビーステ  
フレンズに!

ベビーステフレンズ  
3か条

- みんなで子育てみんなが仲間のベビーステーションに共感できる
- 赤ちゃんは泣くのは当たり前のことだと思う
- できることがあるなら子育てを手助けしたいと思う

共感できる

HPから簡単にあなたもベビーステフレンズに!

<https://fujinomyababy-station.com/about/friends/>

ふじのみやベビーステーション 事業運営 NPO法人母力向上委員会

活動の詳細は「富士宮地区労福協ホームページ」を是非ご覧ください!